

古典考査予想問題プロジェクト

班で予想問題を作成します。作成した問題はクラスに配り解答させます。
作成班は採点をします。40点満点で平均20～30点の予想問題を作成すること。

年 組 番名前

点
D/N

趙相平原君公子勝、食客常数千人。

秦攻趙邯鄲。平原君求救於楚。拔門下文武備具者二十人、与之俱 得十九人。毛遂自薦。平原君曰、「士處世、若錐處囊中、其末立見。今先生處門下三年、未有聞。」遂曰、「使遂得處囊中、乃穎脫而出。非特末見而已。」平原君乃以備數。十九人目笑之。

至楚定從不決。毛遂按劍歷階升曰、「從之利害、兩言而決耳。今、日出而言、日中不決、何也。」楚王怒叱曰、「胡不下。吾與而君言。汝何為者。」

問一、―― 部 (ア) (エ) の漢字の読みを記しなさい。 (2点×4=8点)

(ア) (イ) (ウ) (エ)

問二、―― 部 (a) (c) を書き下し文にしなさい。 (3点×3=9点)

(a) (b) (c)

問三、―― 部 ・ を現代語訳しなさい。 (4点×2=8点)

問四、―― 部 は何を指すか。文中より抜き出しなさい。 (3点)

問五、―― 部 は書き下し文では「 となる。それに従い返り点、送り仮名を記しなさい。 (3点)

問六、―― 部 「 」とあるのはなぜか。その理由を記しなさい。 (4点)

※オリジナル問題 (5点) これは試験に出そうだ!この作品のポイントだ!という問題を解答欄とともに合計6点分作ってください。